

東京赤羽 LC 主催 浮間こども食堂（別紙資料）

東京赤羽ライオンズクラブが主催する「浮間こども食堂」は毎月第 3 木曜日に開催され、2017 年 1 月 26 日（木）で 4 回目の開催となりました。

第 1 回目の「浮間こども食堂」を開催したのは 2016 年 10 月 20 日（木）でした。

第 1 回浮間こども食堂

開催日時 10/20(木) 17:00～19:00

開催場所 太陽の都(老人介護施設)

参加人数 子供35人(1年生～6年生) 保護者6人 ボランティア6人 民生委員4人
社会福祉協議会4人 赤羽LCメンバー15人 太陽の都職員10人
合計80人

内 容 遊び(輪投げ、ストラッカーアウト、けん玉、パターゴルフ、ビーズ、映画鑑賞)
食事(カレーライス、ポテトサラダ、プリン)
保護者、ボランティアに対して趣旨説明



クラブアクティビティ活性化プロジェクト（CAP）委員会では、2016 年 8 月に東京赤羽ライオンズクラブの L 岩下浩之 幹事より子供食堂を開催したいとの相談を受けアドバイスをしました。

CAP 委員会が相談を受けてからアクティビティ開催まで僅か 2 ヶ月で実現したので行動の早さに委員一同が感銘を受けました。

会場となった介護老人保健施設「太陽の都」（東京都北区）は小学校に隣接しているので場所的にも分かりやすく、また子供が集まりやすい場所であるため参加者が集まりやすいように感じました。



東京赤羽ライオンズクラブが子供食堂の開催に至るまでの流れを説明します。

① 場所を確保する

場所的に人が集まりやすく、雨天でも開催できる場所が望ましいです。
食事を提供するので衛生的にも清潔な環境にも配慮しました。

② 開催日を決める

月にいつ頃開催するのか、また月に何回開催するのかを決めます。
あまり回数が多くなっても主催者の負担となりますので、ライオンズメンバーの無理が無く継続しやすい頻度が望ましいです。

③ 内容を決める

まず予算を決めます。
そして、どんな食事にするのか、食事前には何をするのかを決めます。
食事代は大人300円、子供は無料に設定しました。

④ チラシを作る

開催日、場所、内容が決まったらチラシを作りました。
チラシは小学校や幼稚園、幼児施設に配りました。

⑤ チラシを配って参加者を募る

チラシは小学校や幼稚園、幼児施設に配りました。
参加者は電話で受付しました。

⑥ 買い物

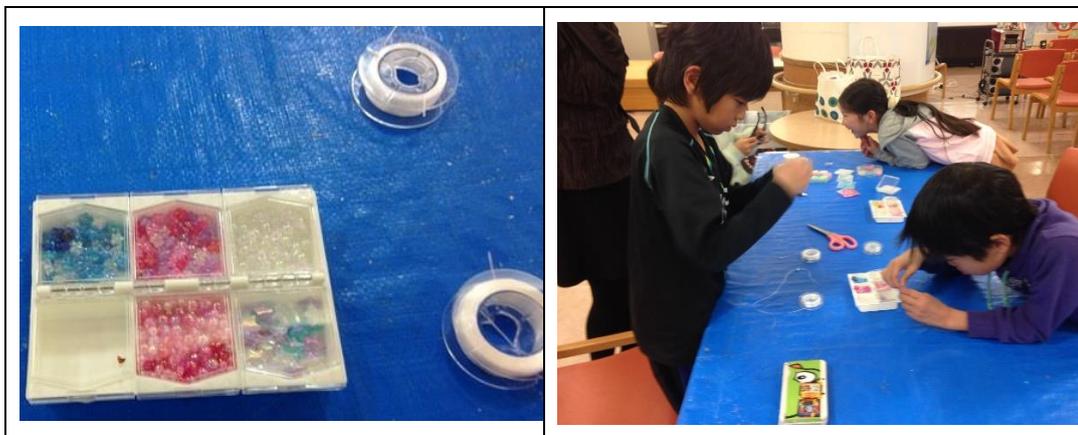
工作用のハサミなどの工具やプレスレット用のビーズを
事前に購入しました。

⑦ アクティビティ開催

17時開始～19時終了としました。
前半は遊んだり宿題をしたり講習を受ける時間とし後半はお食事タイムとしました。
余った時間はビデオを観たり、遊んだりしました。



ビーズとゴム紐を使ってブレスレットを作るコーナーを用意しました。
女の子だけでなく男の子も挑戦していました。



学校の宿題をする子供も居ました。
勉強の分からないところはライオンズメンバーが指導しました。



学校側とも相談した結果、防犯教室を開催することになりました。
講師として防犯アドバイザーの京師美佳さんを招き、防犯教室を開催しました。
京師さんはピカチュウのコスチュームを着て、飴を配り子供達の関心を引きつけながら、不審者の見分け方や身の守り方について講義いただきました。

不審者の見分け方は「はちみつじまん」という頭文字の言葉に共通するそうです。



は	はなしかけてる
ち	ちかづいてくる
み	みつめてくる
つ	ついてくる
じま	じっとまっている
ん	ん?とちゅうい!

不審者から身の守り方は「はちみつじまん」という頭文字の言葉に共通します。

いか	知らない人にはついていかない
の	知らない人の車にはのらない
お	連れて行かれそうな時はおおきな声を出す
す	危ない時にはすぐ逃げる
し	何かあったらすぐ知らせる

参加者全員で「いかのおすしダンス」を踊りました。

<https://www.youtube.com/watch?v=60bdHoVv8sc>



最後は待ちに待った食事の時間です。

カレーライス、ポテトサラダ、メロンゼリー、野菜ジュースを50人分用意しました。

カレーライスは、おかわりする子供も多く大人気なメニューとなりました。



東京赤羽ライオンズクラブとクラブアクティビティ活性化プロジェクト (CAP) 委員会
が協力しアクティビティは成功したため満足な結果となりました。



以上

クラブアクティビティ活性化プロジェクト (CAP) 委員会
L 関 飛雄一